

2019年度 TOEIC[®] Program 総受験者数は約 241 万人

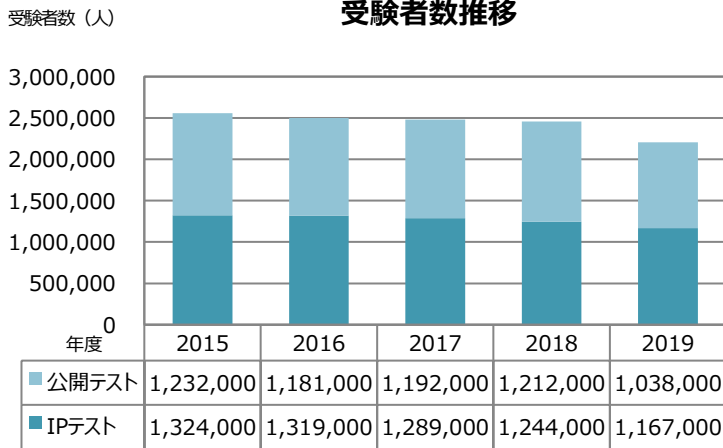
日本で TOEIC[®] Program を実施・運営する国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）（東京都千代田区永田町、理事長：室伏貴之）は、2019年度の受験者数について発表いたします。TOEIC[®] Program の総受験者数は約 241 万人となりました。

TOEIC [®] Listening & Reading Test	TOEIC [®] Speaking & Writing Tests	TOEIC Bridge [®] Listening & Reading Tests	TOEIC Bridge [®] Speaking & Writing Tests <small>(公開テストのみ)</small>	TOEIC [®] Program 総受験者数
2,205,000 人	37,800 人	163,200 人	500 人	2,406,500 人

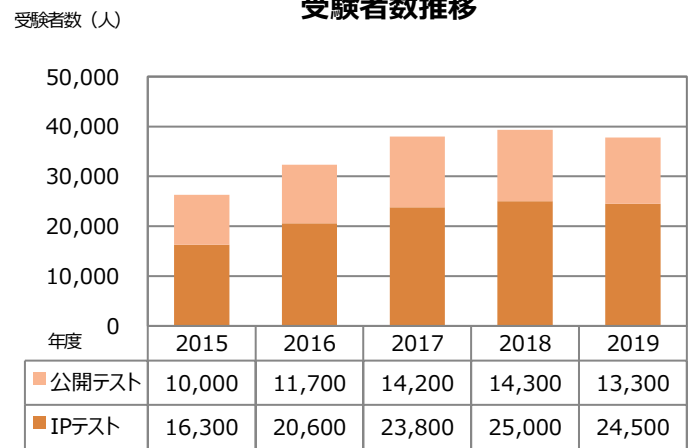
- 英語初中級者向けの TOEIC Bridge[®] Listening & Reading Tests(旧 TOEIC Bridge[®] Test), TOEIC Bridge[®] Speaking & Writing Tests は、2019年6月の公開テストより開始しました。
- 企業・団体・学校などの採用団体数は TOEIC[®] Program 全体で約 3,200 となりました。

※2020年3月の公開テストは、新型コロナウイルスの影響で中止になりました。3月の受験申込者（TOEIC L&R 公開テスト 186,520 人、TOEIC S&W 公開テスト 904 人、TOEIC Bridge L&R 公開テスト 1,285 人、TOEIC Bridge S&W 公開テスト 138 人）は、2019年度の受験者数に含まれていません。

TOEIC[®] Listening & Reading Test 受験者数推移



TOEIC[®] Speaking & Writing Tests 受験者数推移



TOEIC Listening & Reading Test について

英語で聞く・読む能力を測定するテストです。Listening Test（約45分間・100問）、Reading Test（75分間・100問）、合計約2時間間で200問に答えるマークシート方式の一斉客観テストです。2016年5月より、テストの出題形式をアップデートしました。

TOEIC Speaking & Writing Tests について

英語で話す・書く能力を測定するテストです。TOEIC Speaking Test（約20分間・11問）、TOEIC Writing Test（約60分間・8問）で構成されています。受験者はヘッドセットを装着し、パソコン画面の指示に従って音声を吹き込んだり、文章をいれて解答します。

公開テスト・・・当協会の管理下で実施し、個人が直接申し込みをする受験制度

団体特別受験制度(IPテスト)・・・企業・大学などの団体が、所属社員・学生を対象に随時実施する受験制度

本リリースに関するお問い合わせ先

広報事務局(株式会社カーツメディアワークス) 担当：石黒・田口・小石・森山 Tel: 03-6427-1627 Email : iibc@kartz.co.jp

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC) 広報室 担当：三浦・福島・島田 Email : pr@iibc-global.org 公式サイト <https://www.iibc-global.org>

TOEIC® Program

TOEIC® Listening & Reading Test、TOEIC® Speaking & Writing Tests、TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests、TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests の総称。4 つのテストを合わせた TOEIC® Program は世界 160 カ国、14,000 団体で実施されている。

TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で聞く・読む能力”を測定するテスト。テスト結果は 10 点から 990 点までのスコアで評価され、その評価の基準は常に一定に保たれる。スコアによる評価や英語能力を正確に測定できる質の高さが評価され、企業・団体においては昇進・昇格の要件として、また、社員の採用の際などに参考にされている。学校においても入試や単位認定などで広く活用されている。2019 年度の日本における受験者数は約 220 万人。

2020 年 4 月より、企業・学校・団体で実施される団体特別受験制度（IP テスト）において、オンライン方式のテストを導入、約 1 時間での実施が可能となる。公開テストは従来のマークシート方式（2 時間）のテストを実施。

TOEIC® Speaking & Writing Tests (TOEIC® S&W)

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で話す・書く能力”を測定するテスト。テスト開発機関である ETS の認定を受けた複数の採点者が公平に採点し、可否ではなく、0 点から 200 点までのスコアで評価する。また、発音・イントネーション/アクセントについても 3 段階で評価を知ることができる。TOEIC Listening & Reading Test と同様、日常生活やビジネスの場面が採用されているが、特殊なビジネス英語や特定の業界・分野の知識を必要としたり、特定の国の歴史や文化に関連する固有の事象がわからなければ解答できない問題などは含まれていない。2019 年度の日本における受験者数は約 3 万 8 千人。

TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests

英語学習初級者から中級者を対象として、日常生活における活きたコミュニケーションに必要な“英語で聞く・読む能力”を測定するテスト。TOEIC Listening & Reading Test への架け橋という意味を含めて、基礎的なコミュニケーション英語能力を評価する世界共通のテストとして開発され、2001 年より TOEIC Bridge Test として開始。2019 年 6 月より、TOEIC Bridge Listening & Reading Test としてアップデート。スコア表示による評価方法や、評価の基準が常に一定に保たれる点など、TOEIC Listening & Reading Test の特長を備えつつ、初・中級レベルの英語能力測定に照準を合わせて設計されたテスト。2019 年度の日本における受験者数は約 16 万 3 千人。

TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests

英語学習初級者から中級者を対象として、日常生活における活きたコミュニケーションに必要な“英語で話す・書く能力”を測定するテスト。ETS が新たに開発をし、日本では 2019 年 6 月より開始。テスト会場にてパソコンを使用して実施する。TOEIC Bridge Listening & Reading Tests と同じく、30 点～100 点のスコアで評価する。スコアは 1 点刻み。

2019 年度の日本における受験者数（公開テスト）は約 500 人。2020 年 4 月より TOEIC Bridge Speaking & Writing 団体特別受験制度（IP テスト）開始。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC: The Institute for International Business Communication)

「人と企業の国際化の推進」を基本理念とし、1986年に設立。

「グローバルビジネスにおける円滑なコミュニケーションの促進」をミッションとし、国内外の関係機関と連携しながら TOEIC Program およびグローバル人材育成プログラムを展開している。